

みんなの県政

1975/8
79 富山



〈県民一人一人スポーツ推進〉

夏です。

暑い夏こそ体力づくりが大切と県下一斉にプールを開放。

水泳は手軽に親しまれるスポーツとあって、チビッコも大人も大ハッスルの季節です。



特集

立山 50年夏の息づき

神秘的な山の姿の上に湧きおこる、夏の雲。広く青い空を追いかけて、ひとは、山裾から頂きまでを登りつめる。そして山頂——大地の最後の高まり。そこから急な斜面をふり返ると、信じられない遠さで、私たちの住む平野が横たわる。こんな時、私たちは、夏山の広大な自然の中にいる喜びを、さわやかに感じとる。

立山は入りやすくなった。その昔、若者たちが、成人を迎えるための試練として、麓から頂きまでを、一步一步登りつめた心を、私たちは知らない。しかし私たちは、「だれもが登れる立山」を手に入れたことを、喜ぶ。立山黒部アルペンルート¹の全線開通後、いまでは六〇万人を超える人間が、弥陀ヶ原、室堂、そして雄山の頂きを踏みしめることができる。だが、と立山は首をかしげる。おれの胸に咲くかわいい草花が、じゃれつく小鳥や動物が、なぜ追いやられねばならないか。なぜおれの背に、「ゴミの山」ができなければならないか……。私たちは、富山県の繁栄とともに手に入れた「だれもが登れる立山」を、自らの手で汚してはならないだろう。私たちの小さな心がけが、立山の広大な自然を守ることができる。

大自然の中でのびのびと



自然を大切にしましょう

*立山で知りたいことは
ナチュラリスト^{自然に}
解説員に
お聞き下さい。



室堂と弥陀ヶ原がナチュラリストの基地です

みんなの県政

1975・8・もじ

特集*立山	1
立山の自然を守ろう	2
夏山事故防止	3
<自然>を考え語りかける ナチュラリスト	4
立山高原ホテル 7月20日オープン	6
おおやま国体 役員養成にダッシュ	7
夏休みとこども	8
ふるさと一空から拝見—小矢部市	10
うまい米づくり	12
物価と家計簿シリーズNo.26	16
トビックス 6月1日~6月30日	18
夏の交通事故防止	20

立山の自然を守ろう

県民の手で「ゴミ持ち帰り」を

朝日の光の中で、逆光にけむる残雪の立山連峰。千年の昔、大伴家持を「立山に降りおける雪を常夏に見れどもあかず神からならし」と感嘆させた立山連峰。私たちの周囲から急速に自然が失われつつある今日、私たちは、自然のままの姿で立山を残してくれた先人達に感謝し、このすばらしい立山の自然を傷つけることなく、子孫に伝えましょう。



「自然公園」制度

今日、私たちの身近に、「自然のままの自然」を見ることはほとんどなくなりました。それは人間が生活していくために、数千年という長い時間をかけて自然の姿を変えて来たからにはかなりません。たとえばアシ原を水田に変え、シイやタブの林を伐採し、家を建てて街を造り、あるいはカシ林をクヌギやクリの林に変えてしまったように、都市化や工業化が進むなかで私たちのなかに、自然に親しみたいという欲求が生まれました。この欲求が、自然のままの景観を、レクリエーションの場として利用しようという動きとなり、今日「自然公園」と呼ばれる制度が生みだされたのです。

「自然公園」は、自然がどのくらい残っているか、自然景観がどの程度優れているかによって、国立公園、国定公園、県立自然公園に分けられています。そのうち国立公園は、わが国を代表するに足る自然の景観地を

選んで指定されています。

立山連峰は、昭和九年に中部山岳国立公園に指定され、それ以後、私たちが立山の自然の中に導き入れる施設の整備が進められてきました。

一方、そこには、自然を保護する努力が必要となってきました。立山の自然は非常に傷つきやすく、ひとたび破壊されると復元がほとんど不可能だからです。たとえ復元可能としても、それには長い年月を要します。

県では、国立公園利用者、この立山の繊細な自然を傷つけることなく自然に接してもらえよう、歩道や広場、あるいは野営場などの公園施設を整備してまいりました。また、裸地化の激しい場所に対して、緑化復元の事業も実施しています。

立山の頂き「まで」登った「ゴミ戦争」

さらに、近年、ますます重要性を増してきたのが、立山の美化清掃事業です。公園利用者は、昭和四十六年、

立山黒部アルペンルートの全線開通を機に、開通前の一挙三倍、六〇万人にもふくれ上がりました。そして昨年度はすでに、七〇万人を超えています。このような利用者の急増に伴って、飛躍的に増大したのが、人間生活の象徴「ゴミ」。ゴミ戦争はついに、県内最高所、立山にまで這い登ったわけです。



いと考えています。立山の自然を守るために、また、「ゴミ」という人間生活の吐き出す厄介も

のを、私たち県民が上手に処理することができるようになるために、この運動を永続的な県民

運動として展開したいと考えています。県民の皆さんのご協力をお願いいたします。

多発する夏山事故

立山、剣岳を初めとして県内の主な山岳地では、夏山開きも終り、本格的な夏山シーズンに入っています。

夏山は、他のシーズンに比較して気候的にも恵まれているので、レジャーによる登山者が多く、ことしも七〇万人以上の登山者が予想されています。

しかし、夏山とはいえ、山の稜線、中腹、谷（沢）などには多量の残雪があり、登山コースには雪けいが続いています。

この雪けいは、降雨や日中の融雪によって、ブロック（雪塊）の崩壊を起こしたり、クレバース（雪けいの割れめ）、シュルント（岩と雪けいのすき間）などとなって大きく開いています。このため、危険度が高く、毎年、夏山事故の半数はこの雪けいで発生しています。このほか、不注意による転落事故も多く、夏山事故の三八割を占めています。

夏山事故防止



夏山救助訓練

登山には事前準備が大切です。無理のない計画、十分な装備、そして目ざす山の状況についてよく知っていることが、楽しく安全な登山を約束します。

単独登山は危険です

登山中は、思わぬ事故や病気に見舞われ、人の助けが必要に

登山中は協力が不可欠です

パーティのメンバーの足並みの乱れた行動は、事故の危険を招きよめます。リーダーは全員の状態や行動を十分に掌握し、無茶な行動などの起こらないようにはしましょう。他の人もリーダーに協力することが大切です。<早発ち、早着きを守りましょう>

登山中は、朝早く出発し、陽の高いうちに目的地に着くようにしましょう。次の日にそなえて、十分休む時間をもつことが大切です。<引き返す勇気があなたを守ります>

不注意による転落事故などを起こさないよう、コースをはずれたらと思ったときや自信のない場所では、ためらうことなく引き返しましょう。楽しい夏山の思い出を残すために、以上のようなことをよく守りたいものです。

「ゴミ持ち帰り」を永続的な運動に

また、昨年から「ゴミの持ち帰り運動」を強力に展開しています。「ゴミは持ちこまないこと」「持ちこんだゴミは必ず持ち帰ることを」を標語に、協力を呼びかけています。利用者の皆さんにゴミ持ち帰り袋をお配りして、協力をお願いした次第です。

〈自然〉を考え語りかける ナチュラリスト



自然解説員制度二年目

ナチュラリストとは？

アメリカやカナダの国立公園を訪れて、まづ目を奪われるのは広大な大地や森林、氷河をかかえた山々の連なりです。次にすぐ気づくのは、きちんとしたグリーン帽子とユニフォームに身を固め、笑顔で迎えてくれる国立公園局の職員です。彼らは、人が多く集まる場所

で誰彼となく声をかけ、公園内のどのようなことにも親切に相談のつてくれます。一緒に動物を観察し、小鳥の声を楽しみ、高山の花を観賞するガイドツアーにも案内してくれます。夜には、キャンプ場の野外ステージでスライドを上映する楽しい会合が開かれ、彼らはその合間に、「私たちが次の世代

に引き継がなければならない貴重な遺産が、国立公園です」と何気なく語りかけます……。このような仕事をするのが、「ナチュラリスト」と呼ばれる職員です。

日本と外国で違う国立公園制度
外国の国立公園が語られるとき、人間の手が全く入っていない自然の美しさと整備された管理組織が称賛されますが、日本の場合は：残念ながら、植物が踏まれ、盗られ、ゴミの山で埋まり、道路による自然破壊と観光客や登山者のモラルの低下が嘆かれるのが実情です。なぜこうも違うのだろうか。その原因の最も大きなものは、制度の違いにあります。

アメリカの場合、公園内の水や魚、鉱物に至るまで、国立公園局が責任をもって管理しています。

一方、日本の国立公園制度は、本来土地所有者がもっている財産権等を制限することによって自然を保護するものであり、権

立山診療所開設

七月二〇日―八月二二日

立山・黒部アルペンルートの開通に伴い、北アルプス・立山を訪れる観光客や登山者は年々増加しています。県では安心して立山に親しんでもらうため、昭和四六年から毎年夏季の期間、立山貫光(株)室堂ターミナル内で富山県立山診療所を開設してきております。

今年も、七月二〇日から八月三十一日までの期間、県立中央病院の医師、看護婦が診療所に常駐し、けが人や急病人の診療にあたります。

診療を受けられる方は、窓口で保険証を提示して下さい。保険証を持参されない方は、実費をいただくことになっておりますのでご注意下さい。

また、立山ケーブル美女平駅舎内に休養室が設けてあり、身体の具合が悪くなった人は、職員に申し出てご利用下さい。

開設期間
昭和五〇年七月二〇日から八月三十一日まで

診療時間
診療期間の毎日、午前九時から午後四時三〇分(休憩時間を除く)まで

利を制限されることによる損失を補償するという制度です。このため、土地所有者から、木を伐ったり、ホテルを建設したいという申請があるたびに、許可をめぐめる紛糾が繰り返されてきました。

日本の国立公園行政は、この

テルで行ないます。もちろん無料です。

ナチュラリストの皆さんが、立山へ来るあなた方をお待ちしております。

立山自然保護センター

ナチュラリスト事業は昨年から始まりましたが、本来は、室堂に建設中の「立山自然保護センター」をベースに活動するものとして計画されました。

このセンターには、県の管理事務所、営林署、警察などの事務所のほか、展示室、レクチャールーム、研究室などが整備されます。来年七月オープン予定です。このセンターが完成すれば、現在のシステムで活動中のナチュラリスト事業が、より大きな力を発揮することと期待されています。



弥陀ヶ原での現地実習

初の試み富山県ナチュラリスト

「富山県ナチュラリスト」というのは、夏の期間、立山の室堂、弥陀ヶ原に駐在し、国立公園に来られる人々に、ミクリが池や地獄谷、弥陀ヶ原の自然解説をしたり、夜、宿舎でスライドを使って、立山の自然や国立公園について話をしたりする人たちです。このほか、人の多く集まる場所で、利用者の相談にあたります。

ナチュラリストたちは、学校の先生、会社員、農業、主婦などいろいろな職業をもっていて、ボランティアとしてこの仕事に協力しています。

ナチュラリストは、立山の自然について、国立公園について、また広く自然保護についての見

識をもたなければなりません。県ではこのため、数十時間の研修と現地での実習を受けた人に、「富山県ナチュラリスト」

「あら、草にもチングルマがあるんですか」 一群のチングルマを指さして、私が話を始めた途端、前にいる中年の婦人から声が出た。高山植物の代表、チングルマに、草にもそんな名があるのかといわれて驚いた私が、あらためてお尋ねすると、「私、チングルマって、お菓子とばかり思っていたわ」という返事。わっとあがる爆笑の中で、チングルマが草か木かの説明はさておき、自然解説のむずかしさをそつとかみしめる一幕だった。

いっしょに歩いている小学校二、三年と思われる男の子が、

「お父さん、これほんとに雪なの」と、先程から再三父親にたしかめるようにいっているのが妙に気にかかったので「ボク、お父さんといっしょでいいね」

体験記

ナチュラリストこぼれ話

富山県ナチュラリスト 松岸得之助

どちらから来たの」ときくと、「鹿児島から」という返事もどつてきた。白くて綿のようにやわらかい雪を想像していたであらうこの子には、黒くよごれた堅い夏の雪は、理解し難いな

パトロールのお兄さん達のこわい目がそれを許してくれそうもないことを思っ、私なりに考えさせられた一瞬だった。地獄谷からの帰途、草付の中で楽しそうに弁当をひろげている

る一家に会う。こちらの頼も思わず緩む。微笑ましいこの場の雰囲気をつげずにここから出てもらうにはどうしたらよいか考えながら近づいて「今日は、おいしそうですね。でもパトロールが回っていたから草付道路へ出られた方がいいですよ」「そうですね、どうもありがとうございます。ニコニコしながら出てくれたのでホッとしたが、ナチュラリストとして、どうして草付にはいってはいけないのかを説明もせずに、思わず他人の何とかが角力をとってしまったことのよしあしを私は今でも判断しかねている。

立山高原ホテル

7月20日オープン

中部山岳国立公園 立山天狗平



雄山・剣・大日岳等の絶景が一望できます

中部山岳国立公園立山天狗平に、教職員等の保養施設として、「立山高原ホテル」（公立学校共済組合立）の建設を進めてきましたが、去る七月二〇日完成、オープンしました。
（立山美松坂）が老朽化したため新たに、標高二、四〇〇の天狗山荘のとなり新設されたも

のです。
地上四階、地下一階、鉄筋コンクリート造りの近代的な建物からは、雄山、剣、大日岳など立山連峰の絶景が一望できます。ご家族そろっての保養に、また会合やレクリエーション等の利用には絶好の施設です。
春にはスケールの大きなアルペンスキー、夏には高原一面に咲き乱れる高山植物を、秋には燃え上がるような満山の紅葉をお楽しみ下さい。
雄大な大自然と近代的な設備が、皆さん方のご利用をお待ちしています。



立山高原ホテルのごあんない

- 1階 玄関、ロビー、フロント、食堂、スナック、売店、その他天台展望鏡、映写設備など
- 2階 客室（和室10）、大広間
- 3階 客室（和室8、洋室1、特別室2）
- 4階 大広間（会議室）
- 地階 大浴場、サウナ室
- 収容人員 100名（最大240名）
- 営業期間 4月25日～11月25日

利用料金ごあんない

宿泊料 (1泊2食)	組合員	4,500円
	他組合員	5,500円
	一般	6,500円
(税金、サービス料別)		

お申し込みは

中部山岳国立公園 立山 天狗平
公立学校共済組合立山保養所

立山高原ホテル

☎(0764)33-1002

(注) シーズンオフ及び郵送による申込の場合は

〒930 富山市新総曲輪1の7
公立学校共済組合富山支部
☎(0764)33-1002

おおやま国体 役員養成にダッシュ



慎重に選手の出発を見守る(ことし冬のリハーサル大会)

これらの競技運営を成功させるためには……(1)競技コースと付属施設が整備されていること。(2)使用器材が十分準備されていること。(3)競技役員がよく訓練されていること。(4)記録発表が迅速になされること。この四つの点が必要になります。
なかでも、運営の成功不成功は、正確でスピーディな記録発表、アナウンスや出発合図の歯切れのよさなどによって決まるといわれるほどその中心は「人」の問題であり、したがって競技役員の数と質が問われることになるわけです。

六月に全員確保

競技運営に必要な役員数を表に掲げましたが、この他、自衛隊や地元協力会の方々の強力なご協力をいただくことが、不可欠の条件となっています。

この「人」の問題について、

先催県では、ほとんどが会場の地元とその周辺の人達の手によって運営されています。しかし雪に恵まれながらも比較的スキーの歴史の浅い本県では、県下全域から競技役員を要請しなけ

ればなりません。さらには、これらの方々の職場との関係もあり、競技役員確保が昨年から大きな課題になっていました。
こうして四月以来、頻繁に役員依頼の通信や職場訪問を重ねてまいりました。幸い、関係方面のご理解と県スキー連盟傘下のクラブ各位の努力によって、ことし六月には全競技役員が確保され、また高校生の補助役員も、協力の見通しがつきました。

今後の養成計画は次のとおりです。
(1)係長主任研修会 8月24日
(2)全体講習会 9月7日
(3)係長主任研修会 10月26日
(4)種目別係別講習会 11月9日
(5)競技運営実務研修会 1月中旬

ことしは実務演習中心に

昨年度の役員養成は運営の流



中間地点で辛抱強く選手の通過をまつ

役員必要数

計	県内競技役員		大回転	距離	飛躍	計
	全日本スキー連盟役員	補助役員(高校生)				
三四七	二二九	一一八	二二八	一一九	六一六	
九〇	五三	一一	二四	五三	六一六	
二八二	二二九	四六	二四	五三	六一六	
八五八	二二九	一八九	五三	五三	六一六	

運営の成功をになう競技役員

来年二月の「おおやま国体」開催まで、あと二〇〇日ならず。「おおやま国体」の競技種目には、アルペン種目として大回

種目があります。

夏休みと子ども



家庭のあたたかい援助が大切です

子供たちにとって、一年中で一番楽しい夏休みになりました。いかがでしょうか。皆さんのご家庭では、子供たちの夏休みの過ごし方や休み中の楽しい計画など、もう、とくに話し合っていて実行しておいででしょうか。つい忙しさにとりまぎれて、子供たちとの対話をお忘れになっていないでしょうか。

あるいはまた、話し合ったにもかかわらず、計画が実行され

ていなかったり、生活のきまりがゆるんで、夜ふかしや朝ねぼけが続いたり、外出、外泊をうっかり見過ごしておいでにならないませんか。

それとも、子供たちがはしゃぎまわったり、友だちが入れかわり立ちかわりやって来るのに音をあげて、早くも「一日でも早く学校が始まればよい」などと、ぐちをこぼしておいでではありませんか。

たしかに、一カ月以上といえは長い休みです。それだけにいろいろの問題が生じてまいります。しかし、子供たちがいろいろな経験を積み、新しいことを学びとるのも、この夏休みです。家庭の皆さんの愛情のこもったご配慮があつてはじめて、子供たちは、明るい夏休みを過ごすことになるでしょう。今一度学校や幼稚園などから出されて夏休みの心得を読み返して子供たちの健全育成に、万全を期していただきたいものです。

受験勉強など過度の学習負担から健康を損なったり、精神的に疲労したり、孤独に陥ったりしないように配慮することも、家庭教育の大切なつとめといえるでしょう。顔さえみれば「勉強しなさい」と強要することは、決してよい家庭教育ではありません。

それでは、どんな点に気を付けて夏休みを過ごさせればよいのか。問答形式で、いくつか参考になることを取り上げてみましょう。



基本的な生活態度を育てよう

問 夏休みになると、子供たちが一日中家庭に居るため、生活に区切りがなく、不規則になつてしまつたのですが。

答 起床、食事、就寝の時間を一定にし、やがて二学期が始まっても、容易に学校生活に戻れるよう心がけることが大切です。勉強は、朝の涼しい間にすませるようにし、日中の暑い時には自由に遊ばせてやることです。元来子供は、戸外で多くの友だちと遊びながら、「友だち

全体の中の自分」という連帯感を身につけ、自立心や友情を育てていくものなのです。ただ、休みになるとテレビを見る時間が多くなるのが、問題です。長時間の視聴は健康にも悪く、自己本位の不規則な生活になりやすいものです。できるだけ実践的な行動を通して、生活の知恵を獲得するように、機会を作ってやる必要があります。たとえばスポーツに熱中したり、毎日必ず家事の手伝いをするなどの生活体験をさせてあげましょう。

具体的な生活体験を通して、

豊かな心を育て個性をのびそう

問 夏休みの宿題のほかに、何を学ばせたり、体験させたらよいでしょうか。

答 夏休みでないときできないようなことを、この機会にやらせたいものです。

子供が興味をもっていることを調べさせたり、時間と根気のいる観察や調査、あるいは工作など、休みを活用する方法はいろいろあります。長編の本を読み通すというのもよいことでしょう。また、野外活動を通して、自然に親しみ、広い大きな気持ちをもつ人間に育ってほしいものです。

各種の団体活動に参加して共同生活の楽しさを知り、信頼と友情を深めるのもよいでしょう。ただ、これらに参加させる場合安全性の確認と事故の防止につとめ、参加したあと、必ず一日の出来事について話し合うことが必要ではないでしょうか。

健康と安全に注意を

問 海やプールでの水泳、キャンプ、登山など危険ではないでしょうか。

答 最近の子供たちは、体位は向上しているが、体力が劣っているといわれます。知、徳、体といわれるように、体力は豊かな人間性にとって欠くことのできないものです。スポーツ行事に参加する場合は、指導者のもつとで、その指示をよく守らせること。学校へも届けるようにしましょう。

夏休みには、必ずといっていいほど事故がおきます。水死事故、交通事故、花火遊びによる失火事故など、ほとんどが禁止を守らなかつたり、指導者なしの行動の結果です。充分注意して、夏休みを、体をきたえるために活用させたいものです。

問題行動は未然に防止しよう

問 盛り場や列車内の生徒の行動に目に余ることがあつたり本屋での小学生の立ち読みが目立つのですが。

答 同窓生や通学時にできたグループによる問題行動が多いようです。子供たちの交友状況をよく知っておきましょう。

とくに、家庭が留守になる場合に、よくないグループのたまり場になる可能性があります。日頃から親子の対話を心がけましょう。

列車内は「社会の縮図」といわれ、見て見ぬふりをしがちですが、問題があれば、おとなの責任で注意してやりましょう。アルバイトは、事故につながったり、非行化のきっかけとなつたり、とかく問題が多いものです。安全性、就労時間、風紀上の問題などを考え、安易にアルバイトをさせないよう配慮する必要があります。

また事前に、必ず学校へ届け出る必要があります。

強い意志と忍耐力を養うことは、年令のいかに問わず大切なこととです。

問 毎年、夏休みの終わりがあわてて宿題を上げ、家中大騒ぎになるのですが。

答 課題は決して過重なものにはなっていないはずですが、毎日少しずつ積み重ねて、明日への興味をもつよう助言してやるのが、いい方法です。また、観察記録や日記などを最後までやりとげさせたいものです。



林間学校での楽しいセレモニアル・ファイア 指導者のもとで楽しく安全な野外活動を

ふたし

—空から拝見

小矢部市

市名に象徴する、小矢部川が市内を貫流、これと北陸自動車道が交差し、小矢部インター、ゴルフ場、稲葉山牧場等近年急速に市の風景が変身した。

豊かな緑と自然を生かした健康で住みよい都市づくりに、農地の基盤整備、工場誘致、市街地整備事業等が着々と進められている。

また木曾義仲火牛の戦法で名高い県定公園俱利伽羅山、国宝殖生八幡宮、宮島峡など自然の大公園に恵まれている小矢部市でもある

座談会 うまい米づくり

ご出席者

(写真右から)

- 朝日町高橋 高島義信
- 入善町浦山新 鬼原六義
- 黒部市五郎八 松島文子
- 魚津市道坂 米沢精太郎
- 富山県知事 中田幸吉



富山県が今年度はじめて実施した「うまい米づくりの村(五十カ所)」は、「よい土」・「よい米」・「よい組織」をスローガンに、消費者に喜ばれる米をつくり、あわせて稲作農家の所得向上をはかろうと、米の生産量の二〇割以上のコシヒカリをつくっているか、コシヒカリを増産する意欲のある所を指定したもので、うまい富山米の生産拡大をねらっています。

うまい米を消費者に

知事 どうも皆さんご苦労さまです。この間現地を見させていただきまして、ありがとうございます。ありがとうございました。

丁度、田植えが終わって一ヶ月経ったところですから、皆さんが水の管理などについて普及員から指導をうけておられた。その場所へお回りしたわけです。

ご老人の方もおられましたけれども、やはり圧倒的に女性の方が多かったようです。「カーチャン農業」だナアという印象が強かったんですが、しかしやはり、中年の男の方が、いろいろな指導的な立場で何人か必ずおられるという印象をうけたんで

六月十七日に中田富山県知事は、「うまい米づくりにあわせて、米の生産意欲を盛りあげたい」と、魚津、黒部、朝日、入善地区の田回りをして農家を激励しました。この座談会は、その時の農家の代表者に集まっていただき、うまい米づくりについて、知事と語っていただいたものです。

今度の「うまい米づくり運動」は、行ってみまして、非常によく普及しているわけです。皆さんが非常に熱心に意欲を燃やしておられて、とくにコシヒカリの稲の性質なんかをよく研究しておられたように思います。私、やはりおいしい米を消費者に提供するというのが、これからの農家、あるいは農業というものの基本的な姿勢じゃないか——といえますのは、物が段々に豊富になってきますと消費者のほうも味のいいもの、逆に農家の側からいけばひとに好まれる、よく売れる、つまり商品価値の高いものを生産していく

というの、ひとつの姿勢であろうかと思えます。とくに最近、自主流通米が非常に伸びまして、四六年は約六

	米沢精太郎(45才)	松島文子(43才)	鬼原六義(44才)	高島義信(40才)
地 域	魚津市道坂	黒部市五郎八	入善町浦山新	朝日町高橋
耕 作 反 別	30ha	25ha (内チューリップ1ha)	117ha	28ha
農 家 戸 数	30戸	20戸	100戸	18戸
出 席 者 の 経 営 規 模				
耕 作 反 別	2.8ha	1.0ha	1.8ha	2.2ha
内コシヒカリ反別	40a	30a	75a	40a
農 業 従 事 者	2人	2人	3人	3人
機 械 化	共 同	共 同	共 同	共 同
専 業 兼 業	専 業	兼 業	兼 業	兼 業

(入善町浦山新を除く3カ所が「うまい米づくりの村」指定地)

万単位だったのが、四九年は十一万と、2倍に近い。今まだ、自主流通米に売った場合の格差は比較的少ないのですが、それでも昨年だけで(県内で)二億(円)ほど余計に農家へ入っておりますので、そういうことをさらに進めて、できるだけおいしい米をつくらうというのが、この運動の一番の目標です。



中田知事

銘柄四位のコシヒカリ

それで今ですネ。全国で大変評判がいいというのは、新潟のコシヒカリ。さらに、いわゆる日本で一番うまい米だと言われているササニシキ系統のも

の——これは宮城県とか山形、秋田で多いんですが。それから富山の越中コシヒカリといいますが、これが非常に評判がいいと、こういうことでございます。

そこでみなさんから見ましても、コシヒカリをどのよう

に評価しておられるか。とくに主婦の立場から、松島さん、いかがですか。

松島 私は毎日食べていますが、コシヒカリは味も匂いも良し。粘りがあってとてもおいしい米です。親戚の人達が遊びに来て

も、「何にも料理いらぬ。御飯さえあればいい」、そう言っております。

知事 私たちも県外へ出ますと

ね、いっぺんに御飯の味がまずくなるんです。平常おいしいのばかり食べていますから、よそへ行って食べてみて始めて、ふだん食べてる米はうまいナアと思うわけです。おそらく近在の方々も農家でおとりになった

のを食べられると、そういう感じをうけられるんですよ。

それで、コシヒカリってのは関東、関西、中京の方面でも大変人気があるんです。それでこういう米づくりを進めて行こうと……去年はただ全般的ないろんな運動をやったんですが、今年からはじめて村づくりというのを始めたんです。

鬼原さんのところでは、協議会のようなものを作っておられるそうです。

鬼原 そうです。今、うまい米を沢山とって農家の収益を増やそうというねらいから、うまい米の増収競演会をやっております。これは、まず、一〇アール当りの収量を増やすこと。それから奨励品種の作り具合。出荷した米の等級などを総合的に審査して、上位入賞者を年頭の生産組合の総会で表彰すると、こういうことになっております。

去年の実績をみましても、最高の成績を挙げた人は、一〇アール当りにしまして一〇・四俵。六二四。になるんです。

ベストテンまで大体六〇〇。位の反当りになっておるです。

知事 大したもんですね。

あなたのところでしたか、ほかが回っている時に聞いたんですが、部落全部コシヒカリにされたっていうのは。

鬼原 いや、そこまではいいないんです。

知事 何かそういう部落がいく



高島さん

高島 今年は幸いにして「うまい米づくりの村」に指定されまして、今まで青田まわりはして、今年五回に増



つかあると聞きました。——高島さんのところは、どういいう方法でやりなっていますか。出席する……ま、皆ながんば

っています。

知事 そうですか。米沢さんのところは？

米沢 ぼくのところは皆さんの地区よりもずうっと程度低いっというか、兼業のほうでございませう。しかし、「うまい米づくりの村」に指定されて、では名



米沢さん

に恥じないようにやろうではないかと、そして又今後、それを伸ばすにはどういふふうにすればいいかと、こういうことを皆さんと相談した結果、高島さんのところのように青田まわりをまず嚴重にやって、うまい米の品種の特性をつかむ研究会……

ということで、青田まわりを六回位やろうと、みんな大いにがんばってあります。

そこで、自分たちの部落の特徴として、基盤整備事業は行われた、機械は農山村近代化事業で全部共同になったで、

もう殆ど兼業……。

それで、「青空」ではちょっと出席率が少ないというので、今度普及員さんに協力をお願いしまして、「夕空教室」と……夕方五時に仕事を終ったから一時間半ないし二時間、そういうふう

にがんばってやってるような次第です。

知事 だいぶ出席率はいいですが。

米沢 そうですネ、六〇から、七〇割ですネ。今度普及員も来て、オー沢山おられるネって、感心しておられましたよ。

知事 今皆さんそれぞれ、おやりになつてることを聞いたんですが、青田まわりを増やされたのは、結局管理面をよくしようということが一番大きなネライだと思ひます。

労力と機械の能率的な配分が大切

ところで、相当に機械耕作というものが普及してきました、殆どの農家が、今はもう耕運その他は殆ど一〇〇割機械でござ

います。あとは、田植えなどについても機械を半分以上使っている状況です。

鬼原さん、共同で使っておられる機械のことで、大分困っておられる問題もあるようですがいかがですか。

鬼原 そうですネ。うちの生産組合の田に使っております施設といひますと、苗を作る育苗センターとトラクターとあるんです。



鬼原さん

育苗センターは今年で五年目になるんですが、非常に順調にいらつております。今年なんか町でやっております協定料金よりも大幅に安い単価で組合に渡しておりました、非常に皆さんから喜ばれております。

もうひとつのトラクターのほうですが、これもほ場整備が終わると同時に大型の機械が必要になるわけで、個々の過剰な機

械の投資を避けるために、第二次構造改善事業に入ったのです。しかしどうも運営のやり方にも問題あったかもしれないですが、新しい機械の積み立てができていない状態にあるわけですね。

ですから、なんとかしてこの形を継続したいと思つてゐるんですが、そこらあたりのやりくりには困つておる実情です。

知事 機械というのがちよつとぜい沢に使われてしまつてね。

鬼原 そうですネ。

知事 一町しか耕作しておられないところでも、米沢さんのように二町五反位おやりになつてるところと同じ機械をもつてい

るのが大分ございましてネ。だからやはり今のうちに、共同使用というの——私のほうも近代化事業として機械の共同使用、あるいは又「機械銀行」というようなものを作りまして、色々やつてゐるんですが——まだ全県下に普及しませんが——やはり、機械を能率的に使う。労力と機械を、どのように効率的に配分していくかというの

が、これからの問題だろうと思ひます。

昭和50年度「うまい米づくりの村」

設	置	加	全	水	田	コシ	ヒ	カ	リ
か	所	数	面	田	積	作	付	比	率
	50	1,369戸	1,634.6ha						22.6%

米沢 それでネ、知事さん。今、機械の投資の過剰ということもなるほどと察して、いるわけですが、やっぱりある程度余裕をもつた機械の構成というか、そういうことが必要のように考えますが。

知事 その余裕もですネ。この間計算してみたんですが、県下の機械を全部集めると、富山県の耕地面積の二倍半位やれる能力があるわけです。だから今のうちに、三割か四割位の余裕をもたせるというのはいいです



けども、二倍半じゃ少し大きすぎましてネ。だから「機械貧乏」というような問題も当然考えていかにやならんと思ひます。また共同使用ということをや、できるだけ地域に合った形で進めな

いとですネ、画一的にやるとい

うのはいかんと思ひます。ところで、沢山うかがいたいことがあるんですけれども、皆さん方で今一番お困りになつて

後継者をどうするか

たとえば身近な問題で、子供さんをやつぱりあとを継がして農業をやらせるとかいうような問題はどうか。

松島 私のところは、それこそ親の希望としては農業やつてほしいんですけど……ほ場整備で労力もあんまりかからないようになりまして、私たちのまわり



松島さん

も不景気やら物価高やらで生活がやりにくくなりますし……米

づくりだけではちよつと生計やつていけないし、一家に一人月給取りがおりましたらいいと思ひまして、この四月息子の希望もあり大学へ進学させました。

知事 今の松島さんの話は、ぼくは一般的な農家の悩みだと思ひます。

たといふ身近な問題で、子供さんをやつぱりあとを継がして農業をやらせるとかいうような問題はどうか。

松島 私のところは、それこそ親の希望としては農業やつてほしいんですけど……ほ場整備で労力もあんまりかからないようになりまして、私たちのまわり

でして、我々も非常に困つてゐるんですが。

米沢 知事さん、そこでネ。後継者つてことに対して、自分もまだ若いんですが(笑)、やつぱり平常、どつちかつていうと一応は心配するわけなんです。

自分の息子は今、高校終つて就職したんですが、高校へ入ろうという時に、丁度生産調整がありまして、ま、自分自身、あの程度の反別はやつてるとはいふものの、自信がなくなつたわけなんです。

それで息子に、おまえどうすると、お父さんはこう思うんだと、話の結果、「おまえ、じゃ

それだけの気持ちなら好きなところへ行け」と言つたら、案の定どつちかつていうと、電気のほうへ行きました。

それでそうかというて、会社から帰つて来てでも、手伝いは十分にやつてくれてるんです。

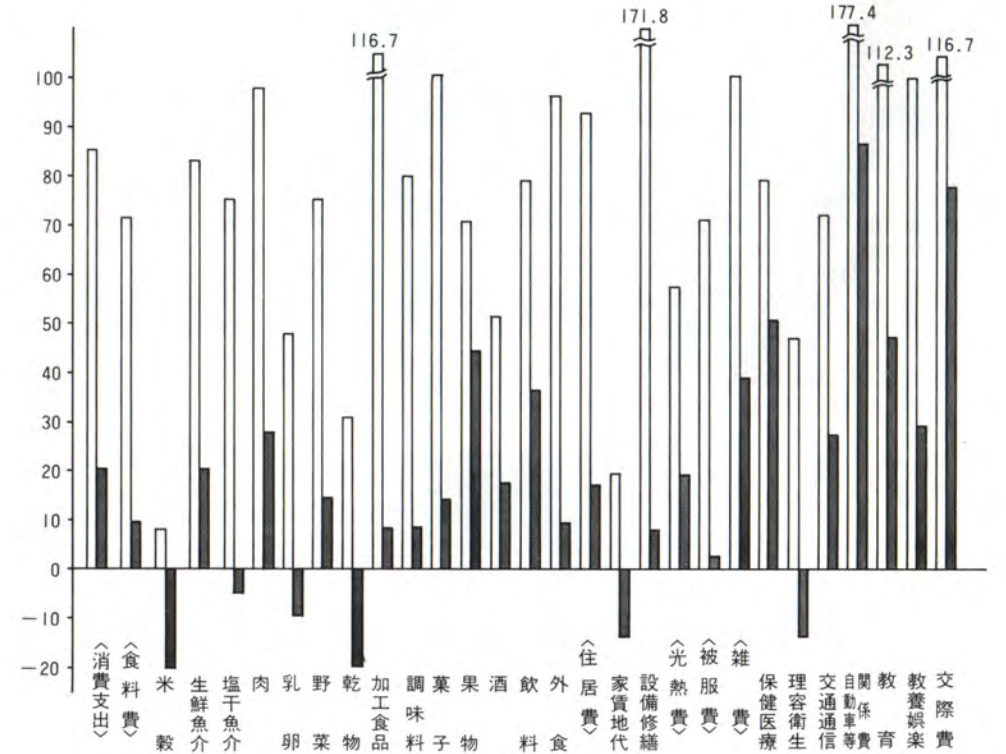
後継者つてことに対しては、心配ありながら、喜ばしいところもないじゃない、ま、あるような状態です。

知事 まだ皆さん方にお伺ひしたいこと沢山あるんですが、この間回つてみまして、ほんの十分か二十分しかいなかったわけですが、皆さん非常に真剣に農業に取り組んでいらつしやるという、本当に真摯な姿に、私、心をうたれたんです。

やはり「農は国の基」ということは、今でも生き生きとしておるといふ印象をうけ、又、今の「うまい米づくり運動」「うまい米づくりの村」は、大変皆さん方のお力添えでうまく行つておりますので、これからは是非ご協力をいただきまして、よろしくお願ひをしたいと思います。

生活費のうつりかわり

図1 費目別の増加率



私たちの消費生活の味も最近では、ひとりの「消費は美德」から「節約は美德」へと急速に変化しているようです。そこで今回は、皆さんに協力いただいた家計調査の結果を利用して富山市の昭和四十五年と四十九年の生活費を比較してみました。

昭和四十九年の生活費は一世帯・一か月平均十四万五千円となっています。この四十九年の生活費を四十五年の生活費一世帯・一か月平均七万八千円と比べると八六割も増えていることとなります。

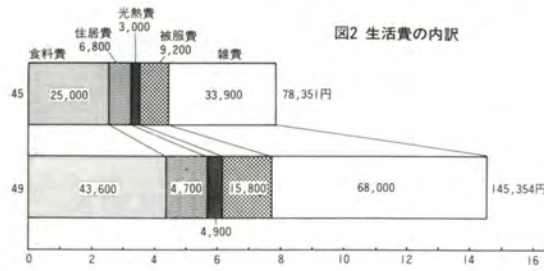
ところで生活費が増えたといってもその内容をみるとみな一様に増えたわけではなく、中味はさまざま動きをしています。実際に支出した金額を名目支出といいますが、これを図1では白い棒線で表わしました。また名目支出から物価の値上がり分をとり除いたものを実支出とい、図1では黒い棒線で表わしてあります。黒棒が長ければ、量的・質的に内容が豊かになったことを示し、また白棒と黒棒との差が大きいほど物価の値上がりの影響が大きかったことを示しているわけです。そこで計算すると昭和四十五年と比べて四十九年は名目で八六割も支出が増えています、この間に消費者物価がぐんとあがったので実支出では約二割の増加ということになります。

次にこの中味をみてみましょう。はじめに食料費についてみると、四十九年は四十五年よりも五七割増加していますが、同時に食料品の値段があがっているため、実質では一〇割の増加ということになります。さらにその内訳をみると、果物、肉、飲料といった嗜好食品や外食が実質でも大幅に増大している反面、生鮮魚介、塩干魚介、乳、乾物などの基礎的な食品は名目支出ではかなり増えています。物価の値上がりが激しかったので、実質ではむしろ四十五年よりも減少しています。つまりふだん食べているおかずの中味には以前よりきりつめられたものもあるようです。

また、生活費に占める食料費の割合(エンゲル係数)といま

す。を比べると四十九年は四十五年の三二割から三〇割にさがり、わずかながら生活の向上を示しています。

住居費は、四十五年に比べると四十九年は名目で六四割も支



出が増えていますが、実質では一七割の増加となっています。この内訳をみると住まい建材・工事などの設備修繕の支出が名目では一五割と最高に伸びているのに、実質では八割増と著しく目減りしています。これは四十七年秋ごろからはじまった木製品・材木の激しい値上がりや、工賃などが大幅に上がったことなどが持家率の高い富山市の場合影響が大きかったものとみられます。

一方、家庭用電気製品、台所器具などの家具什器は、実質でも二八割増と大きく伸びています。これはカラーテレビなどの普及が原因と思われる。

光熱費は、電気・ガス器具の普及によって石油、プロパンガスなどの利用が増えたので名目で五八割、実質一九割の増加となっています。

被服費は、四十五年・四十九年とも生活費のなかで支出された割合はあまり変わらなかったのですが、支出額で四十九年は名目で七一割と大幅に増えています。しかし被服の値段が四十八年に大きくあがったため、実質では三割増と最も目減りが大きくなっています。

雑費は、文代的支出ともいわれ、生活費のなかでの支出割合も年々大きくなっています。四十九年は四十五年に比べ支出額は名目で一〇割と著しく増加しましたが、サービス料金、公共料金の値上がりが大きかったので、実質では三九割と半分以下の増加となっています。それでも実質の増え方は、二番目に大きい光熱費の二倍を上回っています。内訳をみると教育、文房具は名目の大幅な伸びが授業料、ノートなどの値上がりにより実質の伸びはかなり目減りしています。これに対し、自動車等関係費はガソリン等の値上がりにもかかわらず実質八七割と一番大きく増加し、カーブームの影響を知ることができます。

おわりに、今回資料として利用した「家計調査」は富山市の調査世帯七二という少ない世帯ですから地域面にかたよりがあらわれる場合がありますのでご了承ください。なお、文中の増加率は、小数点以下を四捨五入してあります。

富山市の品目別価格(6月分)

品目	銘柄	単位	価格(円)	5月からみだり上昇率(%)	品目	銘柄	単位	価格(円)	5月からみだり上昇率(%)
食パン	普通品	1kg	275	0	みそ	並、袋入(1kg入)	1袋	230	△0.4
即席ラーメン	即席中華めん袋入り	100g	47	0	砂糖	上白	1kg	312	6.1
あじ	まあじ丸(長さ約15cm以上)	100g	83	△15.3	レモン	1個約110g、「サンキスト」	1kg	789	△68.4
さば	丸(長さ約25cm~35cm)	100g	34	9.7	バナナ		1kg	194	△4.0
いか	するめいか	100g	65	△18.8	ちり紙	白ちり3号、クレープ付	800枚	132	△17.5
牛肉	中	100g	248	0	せんたく用剤	合成洗剤、粒状箱入(2.65kg入)	1箱	653	0
豚肉	中	100g	180	7.1	ペニヤ板	ラワン材、普通合板、JAS2類1等(182cm×91cm×2.7%)	1枚	303	2.7
ハム	プレスハム、上	100g	168	0	ワイシャツ(混紡)	カッター、ポリエステル混紡ブロード80番手、白、普通品	1枚	2,100	0
牛乳	加工乳(200cc入)月極め	1本	45	0	せんたく代	綿、ワイシャツ(カッター)配達、料金後払い	1枚	105	0
鶏卵	1個約60g	1kg	332	△1.8	灯油	白灯油、詰替売り、配達	18ℓ	628	0
キャベツ		1kg	43	△23.2	プロパンス	家庭用、10kg、容器代除く	1本	1,500	0
ほうれん草		1kg	200	11.1	自働車	無鉛ガソリン現金売り	1ℓ	113	0
大根		1kg	148	2.8	理髪料	大人調髪(洗髪を含む)	1回	1,475	0
大豆	黄白豆	100g	24	0	パーマノン	コールド(セットを含む)	1回	3,500	0
しょう油	濃口、上・びん詰(2ℓ入)「キッコーマン印」	1本	435	0	パンティ	ナイロン100%、プレーン、サイズM、15~20デニール	1足	200	0

注・生鮮食料品は上・中・下旬の平均価格、その他の品目は中旬の価格です。△印は、マイナスを示しています。

●県政のうごき——6月1日～30日

6月3日●がけ崩れ防災パトロール

1日から全国一斉に行なわれている「がけ崩れ防災週間」の行事として、県は3日から5日まで延べ100人の県職員、市町職員を動員して氷見、福光、朝日の3市町を対象に総合的な防災パトロールをおこないました。がけ崩れ、地すべり、急傾斜、河川はんらん、集落孤立、火災発生などの危険区域を点検、また避難施設、器具、防災資材、ヘリポートの整備状況などについても調べました。

6月4日●戻ってきているきれいな富山湾

県漁連、県汚水公害対策漁業者協議会、県水産試験場が46年度から実施してきた富山湾内の定置汚水拡散調査の49年度調査結果がこのほどまとまりました。

調査結果によると、定置網漁場の清澄化が目だつなど、「きれいな富山湾」が戻りつつあることが確かめられました。このようにきれいな海になったのは、水質汚染対策により陸上からの汚水の流入が激減したためとされています。

また28日には県内主要海水浴場の水質調査結果が発表され、今シーズンの県内海水浴場の全部に合格点がつけられました。

6月5日●県民生活安定審議会開く

県民生活の安定と向上をはかるための「県民生活安定審議会」の初会合が5日、委員17人と県側から中田知事、小浜県民生活局長ら関係者約40人が出席して開かれました。

各委員が物価対策や消費者行政のあり方、また生活からムダを省く諸施策などについてそれぞれ意見を述べ、県側の積極的な取り組みが要請されました。

6月9日●中田知事に「たか章」

日本ボーイスカウト連盟は9日、中田知事（日本ボーイスカウト県連盟会長）に対して青少年育成活動に功績があったとして、たかをデザインした「たか章」を贈呈しました。

知事の受賞は、①県連盟会長として富山県のボーイスカウト人口を人口比で全国第2位、北信越第1位に伸ばした ②社会教育の重要性を認識、県教委に社会教育部を設置するなど、きめ細かい施策を推進している ③有峰野営場の達成に多大な功績があった——という理由によるものです。

6月16日●アユ解禁大物釣れず

16日朝、県内各河川でアユ漁が解禁になり、徹夜待機組を含めた釣りマニアのサオの放列が各所でみられましたが、釣果は全般的にさっぱり。成育状況も予想を下回って「大物」は少なく、平均8～10斤。釣果ゼロのまま早々に引き上げる人も目立ち、太公望らをがっかりさせたアユ解禁日となりました。

6月17日●知事の青田まわり

中田知事は17日、魚津、黒部、朝日の3か所の「うまい米づくりの村」の現地視察を行ないました。作業服姿の知事は、現地で農家の勉強ぶりを視察、地区の稲作状況について説明を受けたあと「消費者の望んでいるコシヒカリなどのうまい米をつくって富山県産米の評価を高めてほしい。またうまい米づくりを通じて米の生産意欲も高めてほしい」と農家を激励しました。このあと入善町で、知事が出席して旧下新川地区の生産組合長大会が開かれました。

また、知事の現地視察に先だつ13日には、県米作改良対策本部などが、農協会館ホールに農業改良普及所員など450人の参集を得て「うまい富山米」生産拡大中央大会を開き、「よい土・よい米・よい組織づくり」を支柱に、うまい富山米の生産拡大を進めることを確認しました。

6月19日●物流近代化に対処

県内の物流貨物体系の実態を掌握し、物流近代化に対処するための「富山県における物流近代化計画調査研究会」が、19日発足しました。

県内では、近年、北陸自動車道の建設、富山新港の整備、流通センターの建設計画など、物流近代化の新しい動きが出ていますが、その中心となるべき輸送、保管業務の実態が明らかにされていない実情から、この調査研究会発足の運びとなったものです。同研究会は、県内のトラック、倉庫、製造、卸売業者を対象としたアンケート調査、分析を9月末までに実施し、今後の県内の物流近代化の指針をまとめていくことになっています。

6月20日●6月定例県議会開く

6月定例県議会は20日招集され、中田知事が提案理由説明にあわせて、当面の諸問題に対する所信をのべました。所信は、①景気動向と中小企業対策 ②49年度決算見込みと今後の財政見通し ③稲作状況 ④安全運転教育センターの開設——の4点。中小企業については、振興審議会を設け、さらに長期的な振興をはかるとし、49年度決算については、2億7千万円とわずかながら黒字となる見込みだが、本年度の税収確保がむずかしいとして、財政事情を説明しました。

23日からは質問戦に入り、中小企業救済、カドミ汚染土壌の復元、流域下水道建設など懸案の問題をめぐって質疑が交され、7月2日、13日間にわたる会期の幕を閉じました。

6月21日●県中小企業振興審が初会合

県内の中小企業の振興をはかり、今後予想される低成長時代の企業のあり方、近代化の方向づけを検討するため、「富山県中小企業振興審議会」が発足。21日、初会合を開きました。

同審議会は、県内の経済、金融、労働各界の代表と学識経験者で構成されており、初会合のこの日は、会長に金岡又左衛門さんを選び、今後の方針などを討議しました。

6月22日●県展開幕

30回目にあたる富山県美術展が、22日から30日まで県民会館で開かれ、期間中多数の県民を集めました。

開幕に先だつて21日に作品審査が行なわれ、入賞、入選439点がまきました。応募点数が日本画・洋画・彫塑・工芸・書・写真の6部門で1,244点と昨年を上回り、加えて入賞、入選を昨年より10点減らす厳選ぶりであつて、応募者にとっては狭き門。しかし内容的にはぐんと向上し、洋画部門の県展大賞に初めて版画が選ばれ、それも女性が栄冠を獲得するなど、多くの話題をまきました。

6月26日●伏木港一ソ連定期配船決まる

伏木港からソ連向け輸出貨物の定期配船が正式に実現。7月3日には、第一船のコレグフ号が伏木港に入港しました。

ソ連船舶公団と富山県、同対岸貿易推進協議会の間で合意した内容は、ソ連船が10日間隔で毎月3回、ソ連からの北洋材を伏木港または富山新港に荷揚げ。伏木港で輸出雑貨を船積みする、となっています。

この定期配船の開設により、県内の対岸貿易が大きく発展するものと期待されています。

6月28日●夏山警告第1号

本格的な夏山シーズンを前にした28日、県警本部は夏山警告第1号を出しました。

県警山岳警備隊が21日から26日にかけて、剣岳一帯で救助訓練をかねて行なった夏山踏査では、ことしの夏山は残雪が多く、雪渓が不安定な状態であることが明らかにされました。また27日には、僧ヶ岳へ単独登山した高校生が遺体で発見された事故があった直後だけに、県警では、単独登山をしないことなどを、登山者に呼びかけました。（この項本文参照）

慎重な運転

やさしいいたわり

夏の交通事故防止

県内で発生した交通事故の月別発生件数をみると、一昨年は八月が最も多く、次いで十一月、五月の順となっています。また昨年は十月が最も多く、十一月、八月の順となっています。

八月に事故が多いのは、真夏の暑さからくる疲れで心のバランスがくずれ……あるいは涼を求めてスピードを出し過ぎる……などが原因になっていると考えられます。

したがって、子供たちが夏休みを迎える七月下旬から八月の間は、一般的に交通事故の危険の多い季節といえるでしょう。そこで交通安全上、留意していただきたいことの二、三について述べてみましょう。

***睡眠を十分にとりましょう**
夏は海水浴やドライブなどに加えて、暑さによる疲労から運



転中の居眠りが出やすい時期で、運転する人がついウトウトと、してしまいやすいのは、(1) 中食後、太陽に向かって、坦々とした道路を一定した速度で走るとき

- (2) 前夜の睡眠が極端に短かいとき
- (3) 極端な緊張、断続走行を必要とする道路から出て、すぐ良い道路を一定速度で走行するとき
- (4) 夜明けの前後や、食事の1～2時間後
- (5) 同乗者が居眠りしているとき

をすること……これが居眠り防止の最大の対策といえましょう。
***飛び出しの危険を教えましょう**
夏休みになると、子供たちは街路の近くで遊ぶことが多くなります。このため、子供の飛び出し事故が起こりがちです。夏の子供の生活は家庭中心になり、とくに母親と接する時間が多くなります。したがって子供の生活のなかに危険な行動を発見し、それを教え導くことのできるの、まず母親です。子供は模倣性が強いだけに、大人がよい手本を示すことが効果的な教育です。

でも、現在の危険な交通事情の中では、子供と同様弱い立場にあるといえましょう。
加えて核家族化や、レジャーが盛んになったことなどから、おとしよりが外へ出かける機会も増えています。とくに夏は、おとしよりにとって冬よりも動きやすいこともあって、外出する機会がより多いようです。こうした中で老人の事故は、交通ルールを知らないことや速度に対する感覚の鈍さなどのほかに、えごち、頑迷といったことも原因となっていて、事故防止の特効薬といったものはなかなか見当りません。

このような条件が、ひとつだけでなく、二つ三つと重なったときに居眠りが起こりやすいのです。ですから、居眠り運転を防止するためには、これらの要件をよくわきまえて、自分で調節することが肝心です。

要は、県民すべてが、今日の日本そして郷土を築いた功労者である老人をいたわることにつきると思います。

***おとしよりに温かいいたわりを**
おとしより——とくに七十歳以上の方の中には、今日の交通戦争を経験せず、交通法規になじまないうちに老齢に達した人が多く、また体の条件からいっ

のを見たなら、すぐ手をかすとか運転中におとしよりを見たら、十分注意して減速、徐行、あるいは停止するなど、おとしよりに周囲のみんながあなたのかい隣人愛をもって接してあげましょ



わずかな土にもかれんな花が

*美しい立山をいつまでも

ゴミは持ち帰りましょう

*楽しい夏山は 危険がいっぱい

雪くずれや落石に注意して
装備を厳重にしましょう

大日岳の残雪と夏山登山



室堂から雄山を



おおやま国体

極楽坂スキー場
栗巣野スキー場



立山に美と力と友情と

みんなの力で成功させよう ●会期4日間 昭和51年2月14日(土) ▶ 2月17日(火)

みなさんの県民課から「お知らせ」

みなさんの県民課は、県庁の玄関の右側にあります。県民課は、県民のみなさんのご意見やご希望、ご相談を受け県政に反映する〈公聴係〉と、県の施策をみなさんに一日も早くお知らせする〈広報係〉があつて、みなさんと県とのパイプ役としての次のような仕事をしています。

●テレビ「みんなの県政」でお楽しみ下さい。

*北日本放送(KNB)

毎週の日曜日、午前9時から30分間カラー放送
小学生のコーラス紹介、県施策を対談・座談会などでわかりやすく解説しています。

*富山テレビ(T34)

毎週の月曜日から土曜日までの毎日、午後5時45分から5分間カラー放送
県からのお知らせ、一口メモ、若者の広場、みなさんの声などをユニークに放送。

●月刊誌「みんなの県政」は毎月5日頃に発行
県政の施策の解説、生活知識など掲載しています。

●新聞「みんなの県政」は4紙に登載

毎月の最終土曜日に、北日本・富山・読売・北陸中日の各新聞に、県政の最近の動きや身近なお知らせを載せています。

●ご相談ごとはお気軽に県民相談室へ

生活上のご相談、県政への希望、ご意見など、気軽に次の相談室をご利用ください。

富山県民課

〒930 富山市新総曲輪1の7 ☎(0764)31-4111

高岡地方県民相談室

〒933 高岡市赤祖父211高岡総合庁舎内

☎(0766)21-9411

魚津地方県民相談室

〒937 魚津市新宿10-7魚津総合庁舎内

☎(0765)24-5311

砺波地方県民相談室

〒939-13 砺波市幸町1-7砺波総合庁舎内

☎(07633)3-5151